杏林大学公開講演会

生体材料などで進化する

創傷治療の最前線

医学部 形成外科学教室 教授

大浦　紀彦

再生医療の進化により、それを応用した創傷治療（傷を治す治療）もめざましく進歩しています。

胎内であかちゃんを包む羊膜をつかった治療や皮膚細胞をスプレー噴射する治療など、様々な生体材料を臨床応用した医療が取り入れられています。標準治療となったFGF（線維芽細胞増殖因子）をつかった治療など、本講演では様々な創傷治療について概説します。

2023

10.26（木）

14:00～15:10

オンライン開催

締切：10/25

定員：90名

申込はこちら←

杏林大学広報室

〒181-8611 三鷹市新川6-20-2
tel :0422-44-0611
mail:koho@ks.kyorin-u.ac.jp